

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2023-110351
(P2023-110351A)

(43)公開日

令和5年8月9日(2023. 8. 9)

(51)Int. Cl.

E 0 4 F 11/16 (2006. 01)
E 0 4 F 11/02 (2006. 01)

F I

E 0 4 F 11/16
E 0 4 F 11/02

テーマコード(参考)

2 E 3 0 1

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 16 頁)

(21)出願番号 特願2022-11739(P2022-11739)
(22)出願日 令和4年1月28日(2022. 1. 28)
(11)特許番号 特許第7090369号(P7090369)
(45)特許公報発行日 令和4年6月24日(2022. 6. 24)

(71)出願人 517292011
株式会社くまい建築設計
埼玉県所沢市大字北秋津3 5 2 番 1 4
(74)代理人 100178179
弁理士 桐生 美津恵
(72)発明者 熊井 幸治
埼玉県所沢市大字北秋津3 5 2 - 1 4 株
式会社くまい建築設計
Fターム(参考) 2E301 CC45 DD22 DD62

(54)【発明の名称】廻り階段

(57)【要約】

【課題】各踏板の幅を確保しつつ、廻り中心側における足の踏み外しや滑りによる数段下への転落を防止する踏面形状を有する廻り階段を提供する。

【解決手段】廻り階段100は、一定の段差を設けて水平に配置された複数の各踏板10、20、30の段鼻11、21、31が廻りの中心側から外側方向に伸びており、各踏板10、20、30の踏面1、2、3は、平面視正方形Sの領域が段鼻11、21、31を踏面1、2、3同士の境界線として複数に分割された形状を有し、踏板10、20、30各々の踏面1、2、3の最小幅L2は、正方形Sの1辺の長さと同じ長さであり、踏板1、3の段鼻11、31は、正方形Sの領域の内側の点P2を始点として外側方向に伸びている。

【選択図】図1

